

活動のあゆみ

グループ結成

小倉北区テレワークセンターで行なわれた第一回高齢者 IT 講師養成セミナー参加者のうち、男女 18 名で平成 13 年 4 月 12 日グループを結成。平成 25 年 3 月の構成は男性 13 名女性 6 名の合計 19 名。



IT 講座ボランティアサポート



北九州市教育委員会に登録し、市主催の第 2 期 IT 講習のサポーターとして参加。市内各区の公民館、小中学校、テレワークセンターへの無償サポートを 15 名で延べ 851 時間行なった。

IT 講習の講師として参加

第 3・4 期 IT 講習(平成 13 年 8 月～平成 14 年 2 月)の講師・サポートにグループとして活動。小倉北区公民館 2 箇所、八幡西・東区公民館 3 箇所、能力開発センターほかで 13 名参加 延べ 816 時間。

自主講座開講

AIM ビルテレワークセンターにて平成 13 年 6 月よりスキルアップ主催のパソコン初心者講座、ワード、インターネット、エクセル、デジカメ等の講座を 1 講座 8 時間で年間 12 回開講。講座サポートが多く安心して受講できると好評。初心者が 1 年間でパソコンを楽しんで使えるようになります。今後もニーズに沿った講座を開設する予定。



会員のスキルアップ講座開始

平成13年6月～8月外部講師による講座を20時間受講し、その後も毎週1回の勉強会を継続。



小学校情報化教育のサポート開始

平成13年9月より八幡西区熊西小学校でパ



ソコンボランティアとしてパソコン教育のサポートをスタート。15年度より修多羅小学校(若松区)で情報化教育を支援。



受託講座を実施

平成14年2月より、能力開発センターでの企業のパソコン教育22講座を受託し実施。



市民センターIT 講座

平成14年4月以降市内の市民センターパソコンスキルアップ講座講師として主にIT講習会後の住民へのフォロー活動開始。

また市民センター行事として開催される文化祭にもボランティアとして参加し、パソコンを使ったデモンストレーションを行なっている。



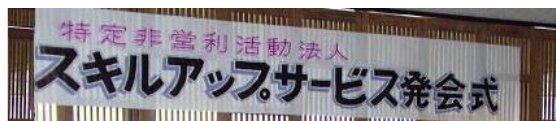
受講生交流会開催

平成14年4月受講生の交流会をテレワークセンターで開催し、疑問点をいつでも問い合わせできるメーリングリストを開設するなど、受講生のIT技術のフォローをスタート。



NPO 法人認証

平成 14 年 12 月、福岡県より NPO 法人の認証が下り、平成 15 年 1 月 15 日より特定非営利活動法人“スキルアップサービス”として活動開始。



パソコンクラブ支援開始



戸畑区A市民センター、小倉北区A市民センター、小倉南区A・B・C・D・E市民センター、八幡東区A市民センター、八幡西区A・B・C・D市民センター、若松区A・B市民センターでパソコンクラブが立ち上がり、その支援を継続。

デジカメ講座開始

最近急速に増えているデジカメ愛好者の要望に応え、平成 16 年度から各市民センター・視聴覚センターからの要請により講師派遣を行った。18 年度は 11 講座実施。受講生ごとに異なるデジカメ持込可能の講習が好評。



デジカメ同好会



会員のスキルアップを目指してスタートしたが、今や自主講座受講者、市民センターパソコンクラブの方々と会員との交流の場となっている。定期的にバスハイク、野外撮影会、作品展示会を実施している。

デジカメ編集講座

デジカメ入門講座に続いて、撮影した写真を編集ソフトを使って加工・合成し、より高度な画像に仕上げるための講座を18年3月より開始。



とばた子供まつり・菖蒲まつり・夜宮まつり参加

平成15年以降夜宮公園、夜宮青少年センター一帯で行なわれるまつりに子供向け「パソコンで遊ぶコーナー」を開設。パソコンに自由に触れられる



ほか、クイズや記念写真入りポストカードがその場でプリントしてもらえるイベントが好評を博している。



小学生とお年寄りのコミュニティ講座

小学生がお年寄りにパソコンの使い方を教えるというユニークな講座の企画運営を担当した。小学生をまず講師・サポーターに養成し、その小学生がお年寄りにパソコンによる手紙の書き方を教え、「孫に贈る手紙」を絵入りで作ってもらった。小学生は人に教えてわかってもらったという達成感を味わい、お年寄りも敬遠していたパソコンが使える喜びで、地域における世代間交流が図れた。



家庭教育学級

小学生を持つお母さん方に、子供たちが学校で日頃どんなことを勉強しているかを知ってもらうためのシリーズで、「パソコン授業」



を1日担当した。小学校のパソコンとソフトを勉強し、最後にイラスト入りで「子供へのメッセージ」を作った。



お母さん方は飲み込みが早く、自分の子供一人一人に当てたメッセージをきれいに仕上げ満足していた。

障害者福祉施設でふれあい福祉活動

毎月1回、障害者が「パソコンで遊びながら、一般社会人とふれあう」活動の企画運営に参加。マウス操作もおぼつかない手に手を添えてやり、簡単な一つの操作をくり返ししながら、ひとつの作品の完成まで行う。

今では、お互い会話もできるようになり、笑顔が多くなってきた。



リユースパソコン寄贈事業

平成19年よりNPO法人イーパーツの協力（北九州市後援）を得て、北九州地域の市民活動団体にリユースパソコン寄贈事業を行い、各団体の情報化、情報発信に貢献している。19年度は29団体53台、20年度は17団体29台、21年度は11団体22台を寄贈。



セキュリティ無料講座を開催

ITの普及に伴って、ウィルス対策、個人情報保護の必要性が増えてきたので、19年12月NPO-IT推進協議会との共催でマイクロソフト社、NPO法人イーパーツより講師を招聘し、西日本国際会議場で開催。



パソコン分解講座

パソコンをより一層理解する上で内部の仕組みを勉強する必要があり、そのために平成20年5月NPO法人イーパーツに講師を依頼して分解講座を開催。

セキュリティサポーター検定講座



パソコンやインターネットは今や私たちの生活に欠かせないものになってきました。それに伴ってウィルスや詐欺、迷惑メールなどの脅威も広まっています。安全安心なインターネット社会実現のため、セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）のサポーター養成のための講習と検定試験を開催。21年10月19名、23年1月36名が挑戦。

セキュリティマイスター養成講座

セキュリティサポーター合格者を対象に地域で活動できるマイスター養成講座を23年3月に実施し、12名が受講した。



サポセンの日に活動内容発表

北九州市市民活動サポートセンター開催の「サポセンの日」に『情報セキュリティとスキルアップサービスの活動』について発表



ハロカフェパソコン教室支援

コラボラキャンパスネットワーク「ハロカフェ」で北九大学生が子育て中のお母さんたちにデジカメ写真を取り入れたポストカードの作成、印刷をするパソコン教室を支援。

インターネット安全教室講師トレーニング in 北九州開講



パソコンやスマートフォンの普及とともに、金銭目的や遠隔操作ウィルスの犯罪も進化している。便利・快適に使うためには怖さを知って防御する必要がある。日本セキュリティ協議会（JNSA）の講師トレーニングを24年10月27日・28日開催。26名が挑戦。

シニア IT リーダー養成講座

29年10月の土曜日4日間、北九大パソコン教室にて第4回目を開催。北九州地域でITリーダーを目指す受講者が熱心に指導実習に取り組んだ。最終日に前年度受講者でリーダーとして活躍している先達との体験交流を行った。



パソコン入門講座

25年9月～10月北九大地域創生学群学生との共同企画で4日間開催。パソコンに興味はあるが操作の経験がない初心者20名対象に開催。講座サポートに毎回学生と合わせて10名がサポーターとして参加。最先端のIT機器とインターネットの世界を体験した。



ホームページアップ

25年度スキルアップサービス公式ホームページを公開した。沿革や活動の歩み、年間講座予定、入会案内のほか、各種講座やイベントの写真を収録。中でも「皆さんのページ」には講座受講者やパソコンクラブメンバーの交流を目指して趣味の作品や自慢の作品を紹介する。今後改良を加えていくとともに新しい情報を掲載していく。

<http://skillupservice.web.fc2.com/>

インターネット安全教室

25年9月～26年3月内閣府・JNSA全国キャラバンの一環として、北九州市NPO 公益活動支援事業の指定を受け市



The screenshot shows the website for 'Skill Up Service' (スキルアップサービス). The header includes the logo and the text 'NPO法人 スキルアップサービス'. Below the header is a navigation bar with tabs for '沿革', '業務内容', '活動の歩み', '運営組織', '入会案内', and '年間講座'. The main content area is divided into several sections:

- 楽しいイベント**: Lists events like '夜宮まつり', 'バスハイク', '子どもまつり', '親睦ゴルフ大会', '各種講習関係', 'H26年度パソコン講座', 'インターネット安全教室', 'パソコンクラブ', 'その他', 'Scratch', 'コロナキャンパスネットワーク', and 'ITリテラシー養成'.
- 新しい視点でシニアライフを創造する**: A section for seniors with bullet points about learning opportunities and social contributions.
- お知らせ**: A notice about a 2-month 'Word Skill Up Lecture' for students and an 'Internet Safety Classroom' schedule for February, March, and April.
- ニュース**: News items including 'National Cyber Security Month', 'JNSA 2016 National General Meeting', and 'JNSA Special Award'.
- スキルアップサービスの主な事業**: A list of services such as 'Self-organized lecture', 'Lecture commission', 'PC club guidance', 'Internet safety classroom', and 'Information security volunteer training'.
- 会員提供**: A section for members with a '会員提供 (A-H)' image.
- お問い合わせ**: Contact information for the NPO, including phone numbers (7800-0253, 090-5299-3443) and email addresses.

内7区14市民センターで地域住民対象に開催。安全快適なパソコンやインターネットの活用と思わぬトラブルから自分を守る方法を啓蒙。

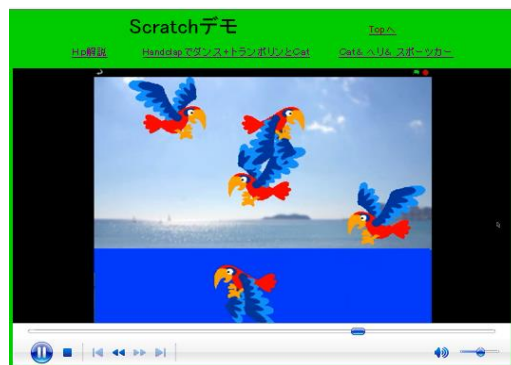
情報セキュリティサポーター指導者育成講習



26年2月 SPREAD 本部より講師を招へい。有資格者 23 名が参加、最新の情報機器とツール、ウィルスの動向と防御策について講習とグループ討議を行った。

Scratch 試験披露

MIT 開発の青少年向け無料ソフト Scratch を使って、アニメを思い通りに動かすプログラムを戸畑区子ども祭りで試験披露。今後実績を積み、青少年の創造性開発の有効性を検証する。



ハロカフェ「パソコンよろず相談会」



コラボキャンパスネットワークの定例会「ハロカフェ」で子育て中のお母さん方対象に「パソコンを買う時の注意点」をテーマに相談会を実施。

コラボ「観月会」

2015 年 9 月中秋の名月の時期、来場者の写真を撮り、デザインはがきに挿入・印刷してお渡しした。



JNSA2015 年度特別賞受賞

インターネット安全教室を中心とする情報セキュリティ普及啓発活動により、一般社会のセキュリティ知識の向上に貢献したことが評価されたものです。

IoTの進展によりインターネット接続の増加、政府機関・民間企業へのサイバー攻撃は伊勢志摩サミット、東京オリンピックに向けて、今後ますます増えることが予想されます。

個人情報漏洩、不正請求問題などの問題も多発しています。

私たち自身が被害に遭わないことはもちろん、踏み台にされて加害者になるようなことのないよう、セキュリティ意識の啓発を続けていく必要があります。



コラボラキャンパスネットワーク連携協定調印式

4月4日（火）北九州市立大学にて、松尾太加志新学長と加盟6団体の連携による多世代交流・生涯学習事業実施に関する平成29年度合意書の調印式に参加しました。コラボラ学生部の学生さんも同席しました。

これによって、北九州市立大学を拠点に各団体の特長を生かした事業が強い協力体制のもとで展開されます。




北九州市「まなびネットひまわり」に登録

平成 28 年 11 月。今後市内市民センターからの「インターネット安全教室」や「各種パソコン教室」開催の要望に沿って、講師を派遣します。

◎ 北九州市
まなびネットひまわり

講師・ボランティア・団体名	特定非営利活動法人スキルアップサービス
活動分野	生活・実技 > その他 職業技能 > パソコン 子ども向け > その他
主な活動内容と活動実績	インターネット安全教室（パソコン、インターネット、スマホを安全に・安心して・楽しく利用するためのセキュリティ対策） <活動実績> 1 パソコンで北九州市民の生産学習のお手伝い ・各市民センターのパソコンクラブ指導他 ・北九州テレワークセンターでの各種パソコン講座実施 2 現役引退後の社会貢献の場づくり ・パソコン講座での講師、サポーター担当 3 ICT関係中央機関と連携した地域活動 ・経済産業省提供のテキストに基づき、一般市民への「インターネット安全教室講座」実施



このサイトについて
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

北九州市「住むなら北九州！」応援団体に登録



住むなら北九州市！応援団体登録制度 登録企業

まなびネットひまわり

特定非営利活動法人スキルアップサービス

平成 28 年 12 月、生涯活躍のまちの形成を目指し、北九州市への移住定住を促進する北九州市の方針を応援する活動を行っていきます。

北九州市環境局職員パソコン講座受託

平成 29 年 8 月～9 月、環境局職員 200 名のパソコン講座を受託。Word と Excel の初級 9 班と応用 7 班、それぞれ 1 日コースで午前（8：30～12：00）Word、午後（13：00～17：00）Excel。スキルアップサービスはテキストの作成と毎日の講師とサポーター計 3 名を派遣、延べ 96 工数に 15 名が分担して取り組む総力体制で臨んだ。



JNSA インターネット安全教室 講師トレーニング in 北九州開催

平成 29 年 11 月、北九州国際会議場にて、東京より専門講師をお招きして開催。出席者 35 名。講座内容は、セキュリティ事件・事故のポイント解説～講義 に使えるネタ、インターネット安全教室 How to Teach-クイズ作成、講師が知っておきたい「最新事情」と「聴き手の心に届く講座のコツ」など



子どものインターネット安全教室開催



平成 29 年 12 月、北九州市立大学にて開催。大学生が企画運営・講師を担当。小学生を 4 班に分け、大学生が各班に 2～3 名入って小学生の発言を引き出した。小学生のちょっとした発言に大学生から「すごい!」「それで?」などと勇気づけ、より多くの発言を引き出した。最終的に小学生全員が手を上げ各班での話し合い結果を発表した。

新型コロナウイルス襲来

平成 2 年初めより、新型コロナウイルス

の世界的流行により、感染防止のため、政府から緊急事態宣言が発出された。北九州市でも公共施設での集会、イベント中止策が取られ、自主講座、パソコンクラブ、勉強会其の他を使用していた施設が軒並み使用禁止となり、パソコン公開講座、パソコンクラブ指導、受託講座等が開催できなくなった。平成 3 年 7 月より徐々に再開できるようになった。

日本の事例		
更新日時: 7月14日 5:24 (現地時間)		
感染者数	死亡者数	回復者数
820,715	14,955	786,581
+4,473	+22	+3,152

持続化給付金

パソコンクラブ休止のためスキルアップサービスの収入が平成 2 年 3 月から平成 3 年 6 月の間、完全にストップした。政府の「持続化給付金」に NPO も申請できることがわかり、申請し給付を受けることができた。

Web会議

コロナ感染防止のため、今まで勉強会、その他の会議で使用していた施設が使用できなくなったので、会員が集まることができなくなった。これに替わり、Web会議システムを利用できることが分かった。会員が自宅に居ながらにしてネット上でお互いの顔を見ながら話し合いができる便利なツールである。最初無料版



ではじめたが、今年度より有料版に切り替え、WEB会議方式と一堂に集まるリアル会議を併用している。

NPO公益活動支援事業補助金

北九州市の平成2年度「プログラム教育無料講座事業」の名前で応募し採用された。平成2年10月から平成3年3月まで市民センターで無料講座を実施した。実施講座は合計28ヶ所（カーロボットプログラミング20ヶ所、Scratchプログラミング5ヶ所、WEB会議2ヶ所、インターネット1ヶ所だった。

実施してくれる市民センター募集のため、市の地域振興課を通じて2回のメール送信で呼びかけると同時に、会員2人ずつで全市民センターに訪問説明した。



実施に際しては各市民センターごとに事前打ち合わせで受講者数、準備資料の確認、テキストの印刷を行った。

カーロボットプログラミングの受講者はすべて小学生であったため土曜日に集中し、一日のうち午前、午後と重なるケースが多く、備品の運搬、講師・サポーターの移動に苦心した。当初30ヶ所の応募であったがコロナのため受講者

が集まらず2ヶ所が中止された。

Small Basic 勉強会
令和元年 7 月より開始



Google 勉強会
令和 3 年 4 月勉強会テーマに採用



スマホ勉強会
令和 4 年 4 月より勉強会
テーマとして取り組んでいる

